

令和3年度 加古川上流浄化センター No.2ベルト型ろ過濃縮機他機械設備改築工事

〈工事概要〉

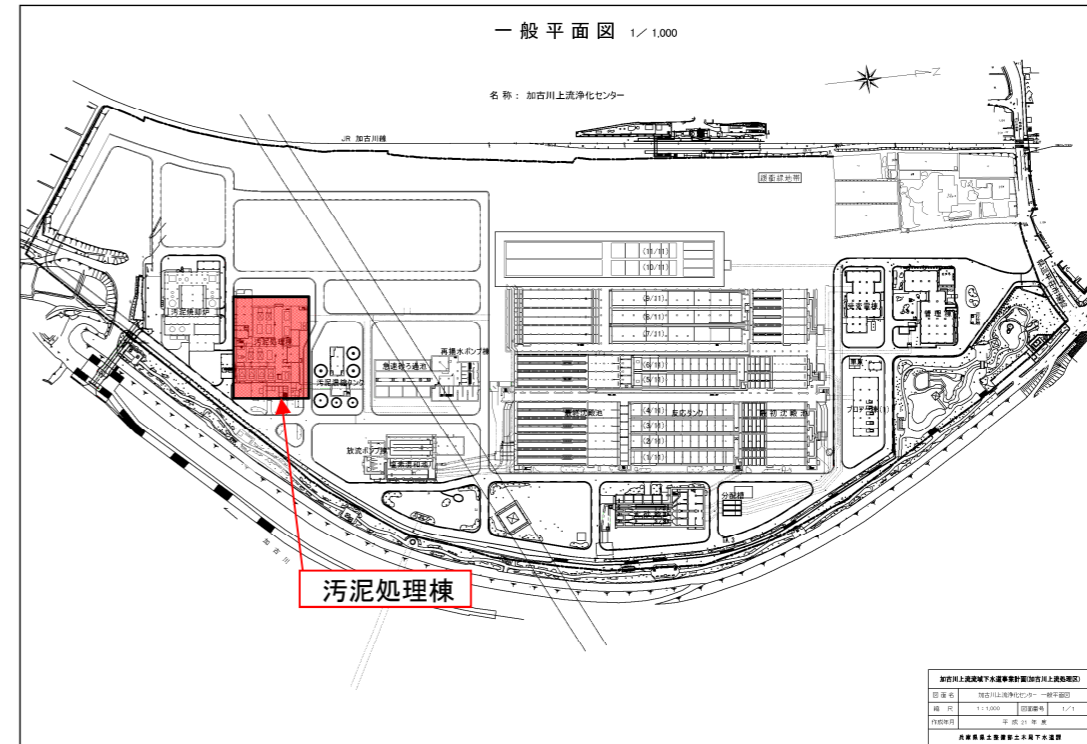
加古川上流浄化センターは、三木市・神戸市など6市の汚水を処理する計画で平成2年の供用開始後30年以上が経過している。水処理設備と同様に汚泥処理設備についても経年劣化が進行し、平成9年度に設置されたNo.2遠心濃縮機は24年が経過しており早急に改築する必要がある。特に、濃縮、脱水、焼却の一連の汚泥処理工程の最初の工程である濃縮設備は重要な設備である。今回工事で遠心濃縮機（52.9kw）より省エネ化が期待できるベルト型ろ過濃縮機（2.25kw）に機種を変更し、更新する。併せて、余剰汚泥ポンプの更新、及び薬品供給ポンプの増設を行う。

《工事概要》

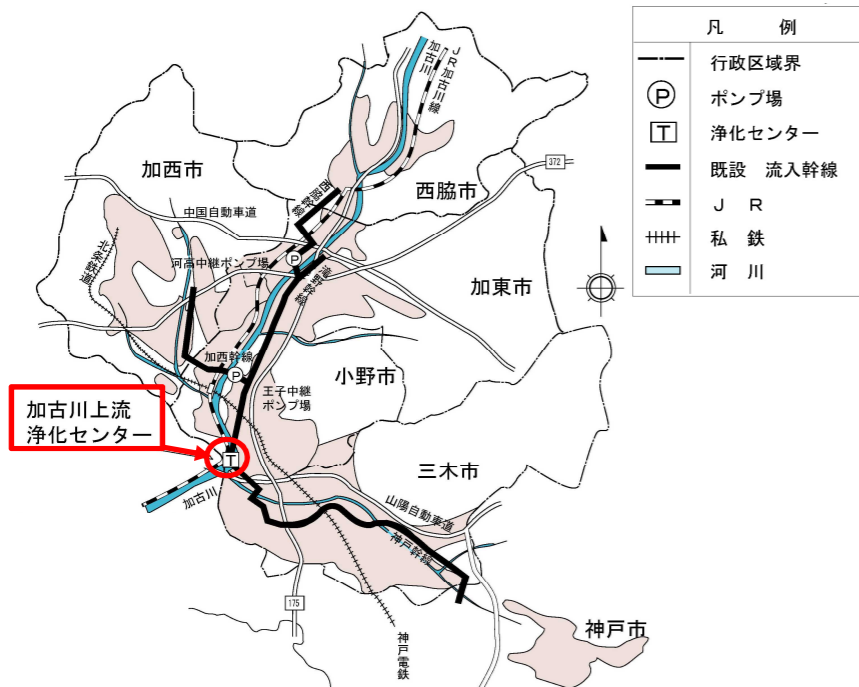
No.2ベルト型ろ過濃縮機他機械設備改築工事 1式

- ・濃縮設備 No.2ベルト型ろ過濃縮機1基、余剰汚泥供給ポンプ3台
薬品供給ポンプ1台
- ・配管設備 配管工事1式
- ・撤去工事 既設No.1、No.2遠心濃縮機及び余剰汚泥供給ポンプの撤去工事1式

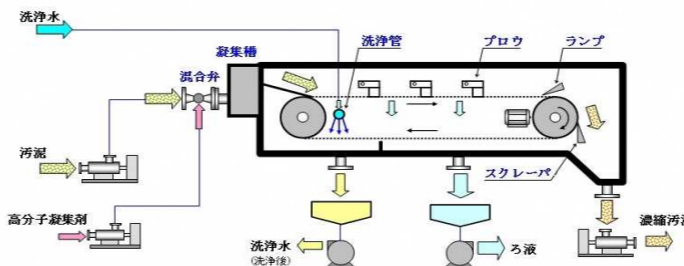
〈浄化センター平面図〉



〈位置図〉



ベルト型ろ過濃縮機(参考システム図)



ベルト型ろ過濃縮機(参考外観)



余剰汚泥供給ポンプ(既設を撤去し更新)



薬品供給ポンプ(増設)



既設No.1、No.2遠心濃縮機(今回工事で撤去)

